



絆

きずな

平成26年2月
第38号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進



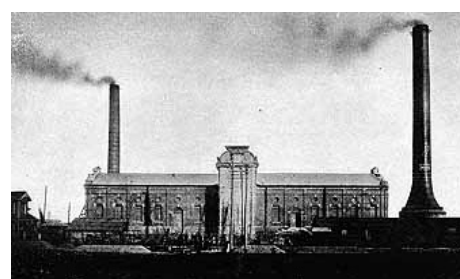
南千住の魅力を伝えよう

～「1番」「最初」が多い地域～

校長 齊藤 進

先日、ある地域の方が来校されたときに、南千住には1番または最初がつく事柄が多いという話で盛り上がり、そのことをPRしたらどうかという話になりました。私は、総合的な学習の時間で全校生徒が地域学習で使用している「歩いて学ぼう！南千住検定」（南千住二中発行）を著わす過程で日本で初めてという事柄があることに気づきましたが、その方に話を伺うまでは南千住の魅力としてPRすることまで思いつきませんでした。そこで改めて1番または最初がつく事柄をいくつか列挙してみました。

解体新書・・・人体に初めてメス、西洋医学発展の基礎
千住大橋・・・徳川家康が江戸で初めて架橋
奥の細道・・・松尾芭蕉 陸の最初の出発点
千住宿・・・江戸で最大の宿場町(人口約1万)
千住製絨所・・・日本最初の毛織物工場
日本板紙会社・・・日本初のボール紙製造
東京電燈千住発電所・・・日本最初の火力発電所
栗友亭・・・東京漫才発祥の地



[東京電燈千住発電所]

上記の詳細は「歩いて学ぼう！南千住検定」（改訂版）に掲載されています。このように、江戸から明治、大正、昭和にかけて南千住で日本の医学、産業、文化が大きく発展してきたことが分かります。

生徒の皆さんが生まれ育ったところは実に歴史的に意義深い地域であることが分かります。生徒の皆さんもこのことを多くの方々に南千住の魅力として伝えてほしいと思います。上記のほかにもまだ、1番と呼ばれる事柄があるかも知れません。ある場合には、ぜひ教えてください。よろしくお願いします。

2年生

校外学習「鎌倉遠足」

2月7日(金)、2年生の校外学習「鎌倉遠足」が実施されました。寒いながらも好天に恵まれ、梅の花もほころぶ青空の下、事前に自分たちで考えたコースをめぐり、古都鎌倉の史跡や文化財の学習を進めました。チェックポイントの鶴岡八幡宮や大仏もほぼ予定通り全班が通過することができました。



天気に恵まれ快晴のもと班行動(高徳院にて)



鶴岡八幡宮三の鳥居にて

また、昼食も班ごとに店を選んで入りました。おそば、しらす丼、パスタ、ラーメン、お好み焼き、中にはたこ焼き屋さんで昼食という班もありました。さらに名物の飲食が認められ、長谷園子や小町通りのチョコレートコロッケを食べたりするのも楽しい思い出の一つになりました。このときも食べ歩きをする生徒もなく、マナーを守り、しっかり行動できました。

今回の校外学習では「大人の判断をする」ことがキーワードでした。電車内や班行動中、昼食場所などでも周囲の迷惑にならないよう行動することができました。そして、3年生になり5月に予定されている修学旅行につなげていくことができたようです。

1年生

街の先生教室



義肢装具士さん



プロサッカー選手のすご技

2年生の鎌倉遠足と同じ日、2月7日(金)の5,6校時、1年生は「街の先生教室」を行いました。街の先生教室は、進路学習の一環として「職業人のお話を聞く」ことが目的です。1年生は冬休みを利用して身近な人から仕事についてインタビューし、職業の種類・その職業につくために必要なことなどを調べ、発表しました。

今回の街の先生教室では、デザイナー、プロサッカー選手、消防士、義肢装具士、銀行員、新聞記者の方にご来校いただき、貴重なお話を聞かせていただきました。生徒は6つのグループに別れ、それぞれお二人の方からお話を聞くことができました。

お話を聞き、仕事の大変さややりがい、必要な資格やその職業に就くまでのプロセスなど、実演を交えながら生の声をお聞きすることができ、改めて職業について考えることができました。講師の先生方、ありがとうございました。

1年生

和太鼓教室



はじめは緊張気味にパチを持つ

授業の終わり頃には、「荒川音頭」にあわせて、力強い太鼓の音が校内に響き渡りました。つくも会の皆さん、ありがとうございました。

2月3日(月)の2～4校時に、音楽の授業で日本の伝統音楽を学ぶ「和太鼓教室」が行われました。地域の天王太鼓つくも会の方々を講師に招き、指導していただきました。初めてパチを握った生徒も多く、最初はなかなかリズムが取れませんでした。教えていただくうちに、じょうずに叩くことができるようになりました。生徒の中にはこのつくも会に所属している人もいて、先生代わりに見本を見せ、皆の目を釘付けにしました。

授業の終わり頃には、「荒川音頭」にあわせて、力強い太鼓の音が校内に響き渡りました。

1年生

う歯予防教室



鏡を見ながらしっかり歯みがき

1月24日(金)午後には、1年生のう歯予防教室が実施されました。虫歯にならない強い歯をつくるための良い習慣作りが目的です。当日は、各クラスに歯科衛生士の方に来ていただき、虫歯になるメカニズムや、その虫歯を防ぐための正しい歯磨き習慣について指導していただきました。その中では、自分が虫歯菌を保有しているか調べたり歯垢チェックなども行いました。また、希望者にはフッ素塗布も行いました。

健康を支える丈夫な歯をつくるための大切な授業でした。

3年生

受験に立ち向かう



1,2年生がさまざまな行事を行っている中、3年生は受験(受検)の時期を迎えています。都立高校の推薦入試(1/26,27)では18名が合格。良い成果を上げることができました。それ以外にも国立高校、私立高校の推薦受験や一般受験などでも続々と合格の嬉しい知らせが入ってきています。

進路選択は、まだまだこれからが本番。2月24日(月)には都立高校の一般受検(一次・分割前期入試)が控えています。現在3年生はそれに向けて、ピンと張り詰めた緊張感の中、猛勉強中です。誰もが良い結果を得られるよう頑張り抜いてほしいと思います。



南千住二中の展示ブース

区展・都展が行われました



1月24日(金)から27日(月)までの4日間、町屋文化センターで荒川区立中学校連合展示会が行われました。南千住二中からも、書写や美術、技術・家庭、地域学習個人新聞など、多数の作品が出品されました。また、その中から何点かは都展(東京都公立学校美術展覧会)にも出品されました。各校の優秀作品が一堂に会した展覧会は圧巻でした。

<都展出品作品>

書き初め(国語) 2年2組女子1名

平面構成(美術) 2年1組女子1名、2年2組男子1名、女子1名、2年3組女子1名

LED行灯(技術) 3年1組女子1名、2年2組女子1名、2年3組男子1名

ペットボトルケース(家庭) 2年1組女子1名、2年3組男子1名、女子2名

部活動の活躍

ソフトテニス部 女子【荒川区冬季大会】団体**準優勝**

バレーボール部 女子【荒川区冬季大会】**準優勝**

バスケットボール部 男女【荒川区教育リーグ】出場中(結果は次号で)

南千住マイスターのコーナー

は狸や川獺(かわうそ)などの野生生物がたくさん棲みついていたことでしょう。当時「かわうそ」は、狸や狐と同じく、人に化けたりだましたりする動物とされていました。日本各地には美女や子どもに化けたり、「かわうそ」そのものが妖怪としてとらえられていた地方もあるようです。きつと当時は、南千住でもその「かわうそ」の伝承があったに違いありません。人に悪さをする「かわうそ」を、怖がりながら捕らえたのが「かわうそ狩り」だったのでしょうか。

残念なことには日本に生息していた「ホシカワウソ」は、一九七九年夏の目撃例を最後に、二〇一二年に絶滅が宣言されています。胡録神社の例大祭は今でも三年に一度、六月の第一週の日曜日に開催されていますが、「かわうそ」が絶滅してしまった今となっては、「かわうそ狩り」はもはや幻の行事となつてしまいました。

すみだ川妖怪絵巻 その8
『かわうそ狩り』



協力;
NPO法人
千住すみだ川